

平成29年度第2回パートナー県政推進会議の開催結果について

平成29年12月

県 民 課

「県政は県民のパートナー・地域のパートナー」であることを原点として制定した鳥取県民参画基本条例の基本理念に基づき、県政への県民意見の反映や県民と県政との協働のあり方について議論を深め、施策の改善を検討するため設置された「パートナー県政推進会議」の第2回目の会議を開催し、鳥取県の元気づくり施策の深化について意見交換を行いました。

1 日時・場所

(1) 日 時 平成29年12月3日（日）午後3時30分から5時30分まで

(2) 場 所 ホテルモナーク鳥取

(3) 出席者 委員13名、知事、元気づくり総本部長ほか

2 主な意見等

項目	主な意見等
若者の転出超過対策	<ul style="list-style-type: none">・ 県外出身の学生が本県に残りたいと思うようになってきていると感じる。若者を定着させるには教育の現場が大事である。例えば、スポーツの第一人者に移住してもらえれば、スポーツ関係の人を増やし、定着にも繋がるし、“本物”に触れることができる教育にもなる。・ 高校生の県内定着のため、県内企業の情報を知るためのイベント等を行ってほしい。
人材不足解消	<ul style="list-style-type: none">・ 高齢者、障がい者、児童等一体の共生型施設で3つのサービスを提供しようとする、それぞれに対する有資格者等が必要となるが、働き手がいなくて困っている。実態に合わせて、1人2役を可能とする等の規制緩和ができないか。・ 西部では求職者1名に対して、求人が2社という状況である。高校新卒者を一から育てるつもりで求人している。
観光戦略	<ul style="list-style-type: none">・ 海外の観光客を増やすには、外国人観光客に直接聞いてみるのが最も有効だと思う。・ 風紋広場で砂像展示を行ったが、地元住民に砂の文化が浸透していないことが分かった。砂丘を売り込むためにも、今後10年の砂丘活用ビジョンのようなものを作るべきではないか。
その他	<ul style="list-style-type: none">・ 自然環境保全に対する県民意識のさらなる向上が必要と感じる。・ 保育料の無償化はありがたいが、すべて無償化まではせず、病児病後児やお泊り等のサービス充実にもっと力を入れてほしい。・ 鳥取県は一人ひとりの住民の意見に対して応えてくれている。より多くの人に県政をもっと身近なものに感じてもらい、県民が県政に参画する仕組みや触れる機会が増えると良い。

3 今後の予定

会議で頂いた意見等については、県施策等に反映できないか検討する。

【会議の様子】



4 委員

〔18名、50音順〕

氏名	所属等	備考
大生 唯統 (おおばえ ゆいと)	公立鳥取環境大学	
上所 俊樹 (かみじょ としき)	倉吉市地域おこし協力隊	
衣笠 優子 (きぬがさ ゆうこ)	絵本と食育「はらぺこあおむし」 代表	
沢口 沙理 (さわぐち さり)	鳥取大学	欠席
薛 幸夫 (そる へんぶ)	在日大韓民国民団鳥取地方本部 団長	欠席
高虫 秀樹 (たかむし ひでき)	鳥取県稲作経営者会議 会長	
田淵 裕章 (たぶち ひろあき)	株式会社田淵金物 代表取締役	
出口 七愛 (でぐち ななえ)	米子西高等学校	
徳本 敦子 (とくもと あつこ)	森のようちえん・風りんりん 代表	
野口 さやか (のぐち さやか)	公立鳥取環境大学	
野口 智恵子 (のぐち ちえこ)	三八市実行委員会 代表	
原田 文恵 (はらだ ふみえ)	株式会社LASSIC 取締役	
東根 ちよ (ひがしね ちよ)	鳥取大学地域学部 講師	欠席
古田 琢也 (ふるた たくや)	株式会社トリクミ 代表取締役	欠席
森高 菜月 (もりたか なつき)	米子西高等学校	
山下 弘彦 (やました ひろひこ)	日野ボランティア・ネットワーク	
山下 理代 (やました りよ)	小鴨保育園 保護者	欠席
渡部 真哉 (わたなべ しんや)	特定非営利活動法人あかり広場 副代表	